長野県の豊かな自然と文化を活かした地域間連携の強化と広域観光の推進（事業区分：道路）

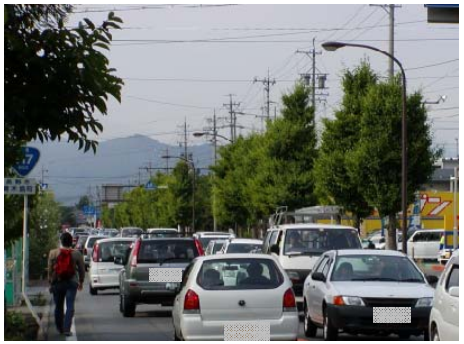
1. 長野県の現状と課題

【現状】

長野県は自動車交通への依存度が高く、国県道は5,161km、市町村道は42,055kmに及ぶ一方で、改良率はそれぞれ63.7%、10.6%と全国に比べて遅れている。（H20.4.1現在）

【課題】

産業の活性化、定住と交流の促進、安全・安心な生活の実現など「地方創生」のための施策を展開するうえで、道路網の整備が不可欠となっている。



朝夕渋滞が発生する幹線道路

歩行者が危険な狭い道

2. 計画の目標

県内の豊かな自然・歴史・文化などの資源を活かした地域間の交流を担うため道路整備を推進し、あわせて、訪れやすい環境整備、道路交通の安全性の向上により誘客を促進する。

3. 事業の内容

【計画の期間】 平成21年度～平成25年度（5年間）

【事業実施主体】 長野県他48市町村

【計画の成果目標】

計画の成果目標	H21（現況値）	H25（目標値）
地域間交流ルートの移動時間短縮	0時間・台／日	11,600時間・台／日

※「地域間交流ルートの移動時間短縮」とは、平成21年度計画策定時を基準に、地域間を連絡する道路の移動時間短縮を総計したものであり、平成21年度現況値は事業未実施のため0時間・台／日としている。

【事業の主な内容】

基幹事業　：国道の整備　49箇所 102.0km　県道の整備　81箇所 54.0km
　　市町村道の整備　143箇所　81.0km
関連事業　：信号機整備
効果促進事業：案内看板設置、観光マップ・パンフレット作成

【箇所数と事業費】

	国県道	市町村道	計
基幹事業	130箇所 455.5億円	143箇所 135.5億円	273箇所 591.0億円（1,241.3億円）
関連社会資本整備事業	4箇所 0.7億円	－	4箇所 0.7億円 （11.5億円）
効果促進事業	4箇所 0.01億円	7箇所 0.2億円	11箇所 0.2億円 （4.3億円）
計	138箇所 456.2億円	150箇所 135.7億円	288箇所 591.9億円（1,257.2億円） 47.1%

※事業費は精算額としているため、整備計画の事業費とは合わない場合があります。
※（）内は整備計画の事業費です。

4. 事後評価の結果

【目標値の達成状況】

目標値の達成状況	H25（目標値）	H25（実績値）
地域間交流ルートの移動時間短縮	11,600時間・台／日	6,535時間・台／日

■事業効果の発現状況

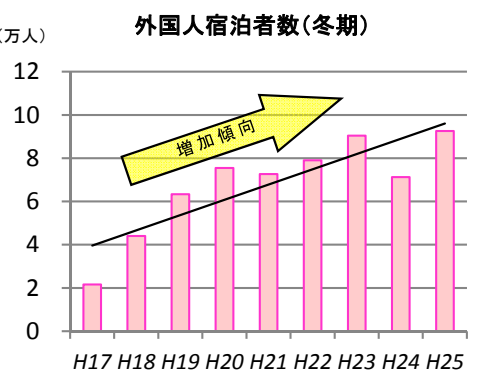
・目標値を達成できなかったものの、冬期の外国人宿泊者数は増加傾向にあり、地域間の物流、交流を担う幹線道路の整備が、スキー場とその周辺地域との周遊に効果を発揮し、観光振興に寄与しているものと考えられる。

・完了箇所数　県事業：57箇所
　　市町村事業：108箇所

・改良率の向上（国県道0.8%、市町村道0.1%）

・歩道整備延長17.3km

・冬期通行不能区間、落石危険箇所の解消



5. 評価と今後の方針

・ 地域間を連絡する幹線道路網や観光地へのアクセス道路の整備によって計画目標に掲げた誘客数が増加傾向を示していることなど、観光産業の活性化に寄与したものと評価できる。

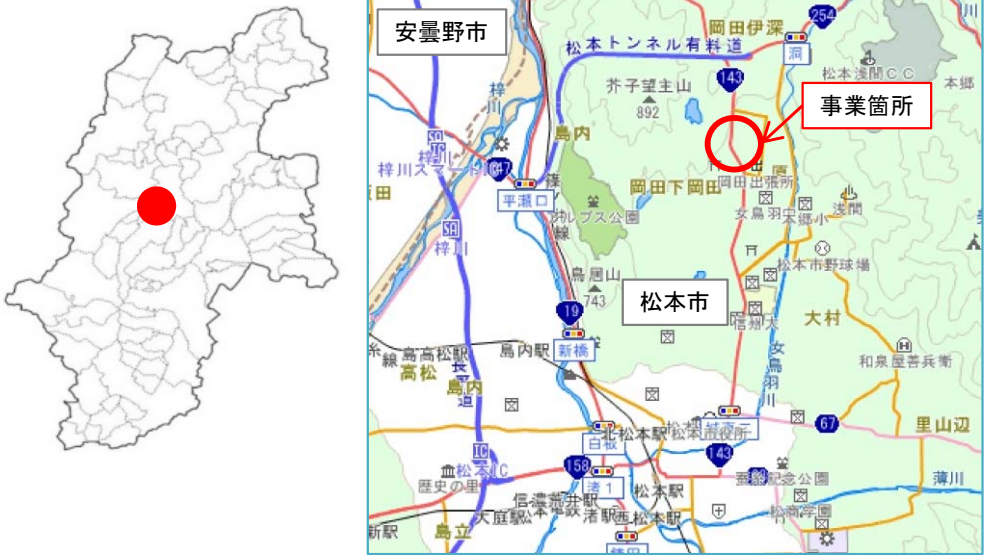
・ 今後、計画の策定にあたっては、本整備計画における評価結果を検証し、整備方針の検討を行い、新規計画に反映させていく。また、整備効果を早期に発現させるため、予算配分の重点化、効率的な事業執行に努めていく。

長野県の豊かな自然と文化を活かした地域間連携の強化と広域観光の推進（事業区分：道路）

整備効果事例

事例①　（国）143号　松本市　岡田拡幅

■位置図



■整備効果

整備前

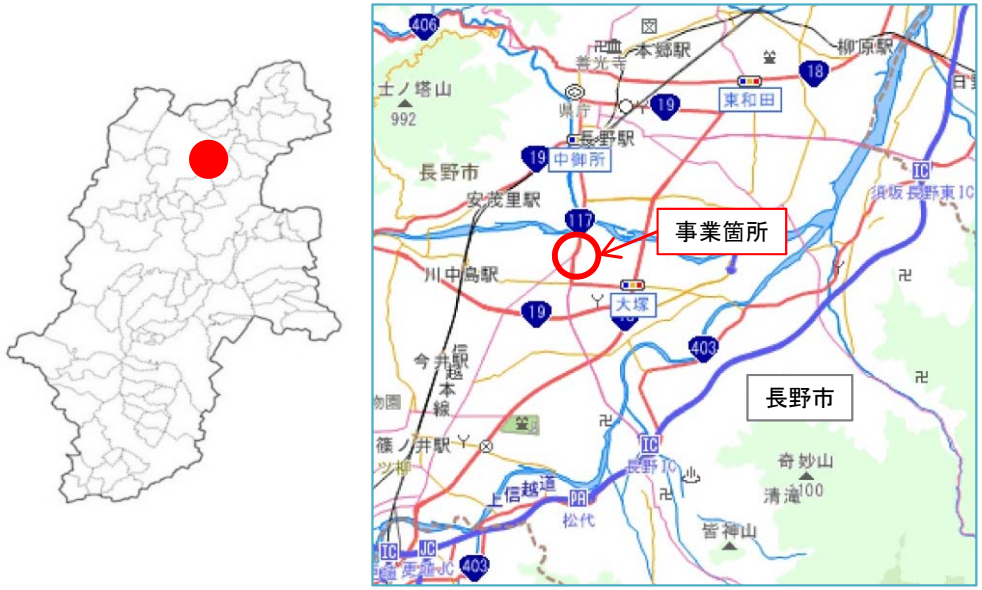
道幅が狭く歩道もないため
歩行者が危険な状況

整備後

松本地域と上田地域を結ぶ
幹線道路の円滑な交通を確保

事例②　道路改築事業　（国）117号　長野市　青木島拡幅

■位置図



■整備効果

整備前

現道は朝夕を中心に
渋滞が発生

整備後

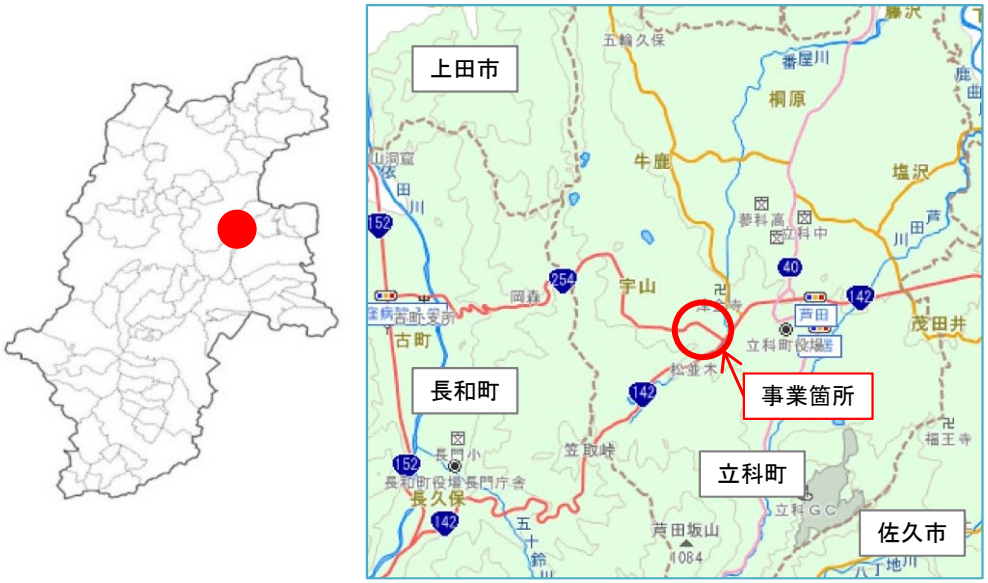
ﾊﾞｲﾊﾟｽの整備により円滑で
安全な交通を確保

長野県の豊かな自然と文化を活かした地域間連携の強化と広域観光の推進（事業区分：道路）

整備効果事例

事例③　道路改築事業　（国）254号　立科町　極楽坂

■位置図



■整備効果

整備前

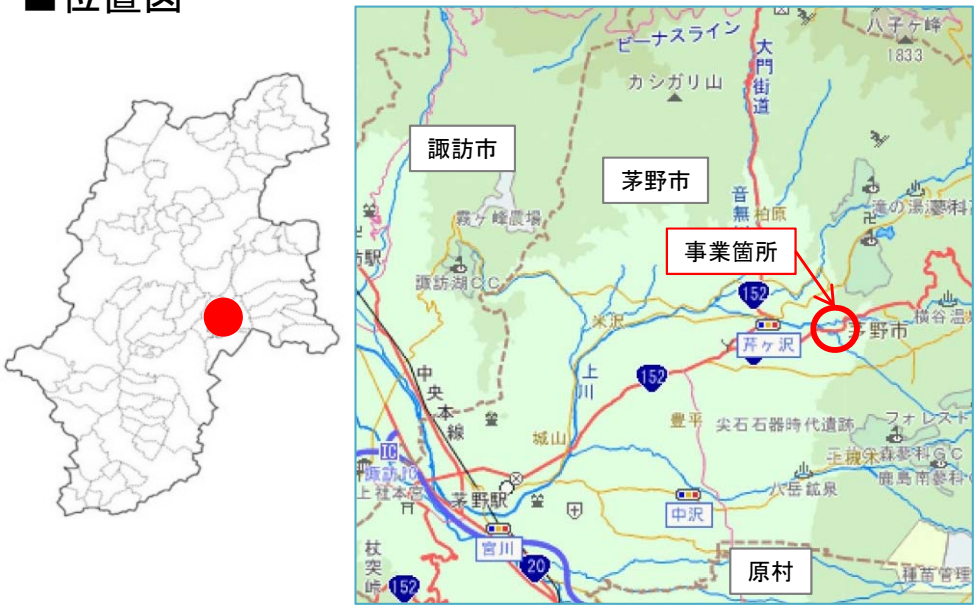
道幅が狭く歩道もないため
歩行者が危険な状況

整備後

ﾊﾞｲﾊﾟｽの整備により円滑で
安全な交通を確保

事例④　道路改築事業　（国）299号　茅野市　糸萱拡幅

■位置図



■整備効果

整備前

カーブと勾配変化により見通し
が悪く安全な通行に支障

整備後

拡幅改良により円滑で
安全な交通を確保

長野県の豊かな自然と文化を活かした地域間連携の強化と広域観光の推進（事業区分：道路）

整備効果事例

事例⑤　道路改築事業　（一）東部望月線　東御市　田之尻～畔田

■位置図

■整備効果

整備前

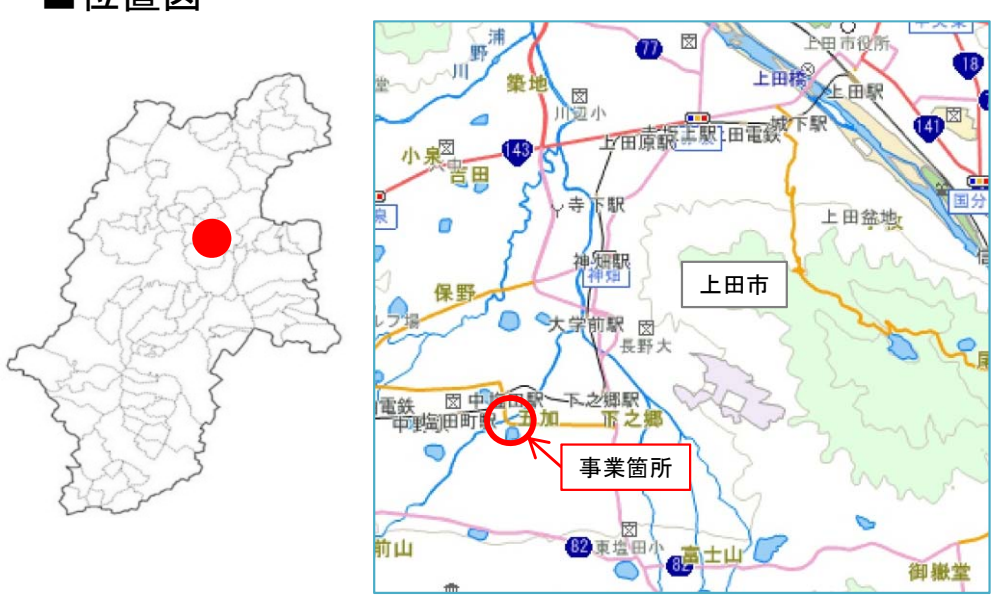
道幅が狭く歩道もないため
歩行者が危険な状況

整備後

ﾊﾞｲﾊﾟｽの整備により円滑で
安全な交通が確保

事例⑥　道路改築事業　（一）塩田仁古田線　上田市　五加

■位置図



■整備効果

整備前

道幅が狭く歩道もないため
歩行者が危険な状況

整備後

道路改良により円滑で
安全な交通を確保

長野県の豊かな自然と文化を活かした地域間連携の強化と広域観光の推進（事業区分：道路）

整備効果事例

事例⑦　道路改築事業　（一）中野飯山線　中野市　東笠原～越

■位置図

■整備効果

整備前

道幅が狭く大型車の
すれ違いが困難

整備後

中野市と飯山市を結ぶ
円滑な交通を確保

事例⑧　主要地方道飯田富山佐久間線　飯田市　米峰

■位置図

■整備効果

整備前

カーブが連続し見通しが悪く
安全な通行に支障

整備後

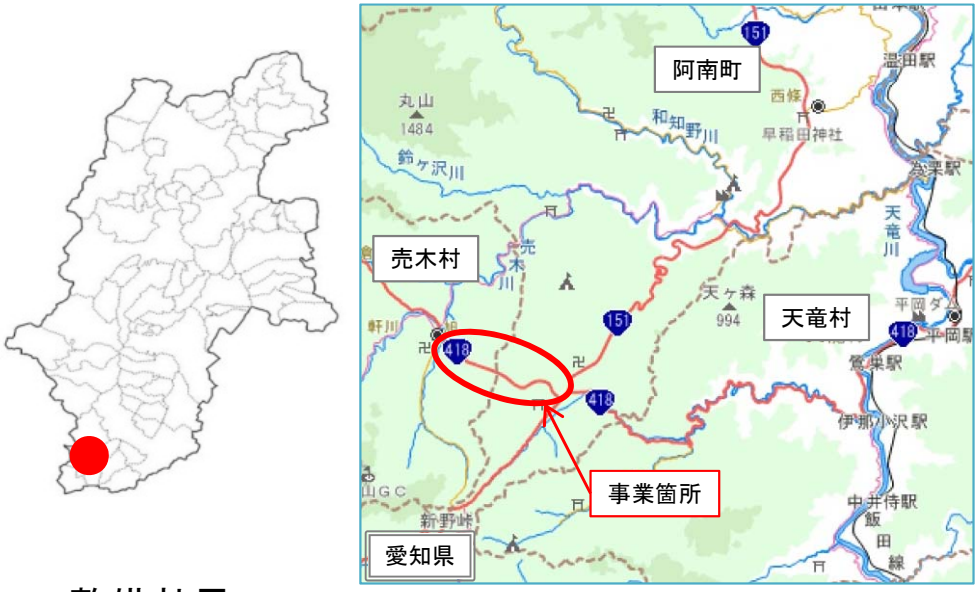
南信州と飯田市街地を結ぶ
幹線道路の円滑な交通を確保

長野県の豊かな自然と文化を活かした地域間連携の強化と広域観光の推進（事業区分：道路）

整備効果事例

事例⑨　道路改築事業　（国）418号　売木村　売木峠ﾊﾞｲﾊﾟｽ

■位置図



■整備効果

整備前

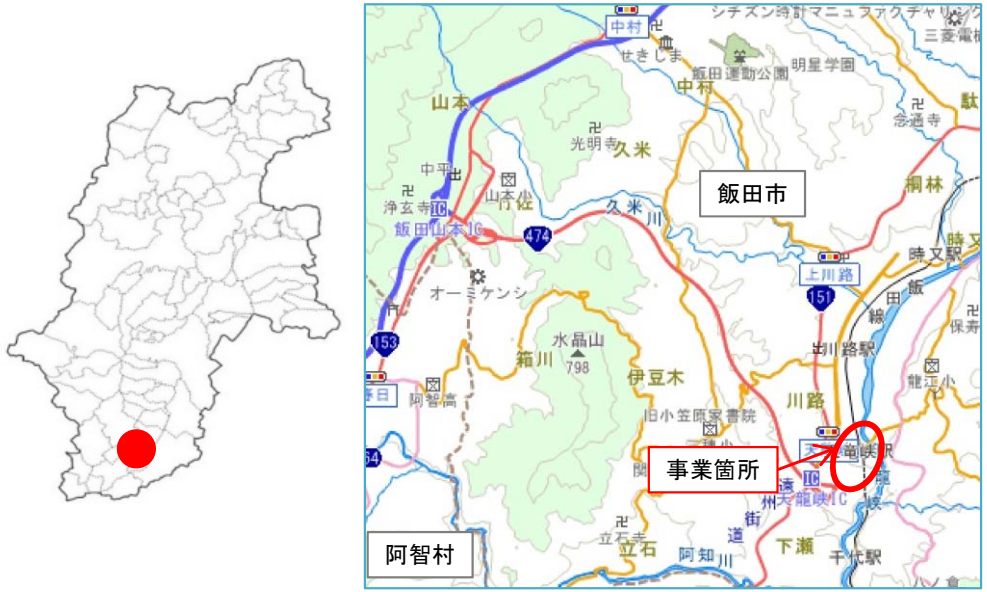
道幅が狭く、大型車の
すれ違いが困難

整備後

ﾊﾞｲﾊﾟｽの整備により円滑で
安全な交通を確保

事例⑩　道路改築事業　（他）川路220号線　飯田市　川路

■位置図



■整備効果

整備前

道幅が狭く、カーブにより
見通しも不良

整備後

天竜峡ICと観光地を結ぶ
円滑で安全な交通を確保